

2017年度 人類働態学会 夏季研究会開催のお知らせ 第1報

■主催

「人類働態学会」

■共同主催

「労働科学研究所エキスパートネットワーク新規事業プロジェクト（若年者教育チーム）」

■ねらい

今年の夏季研究会は、労働科学研究所エキスパートネットワーク*と連携し、若年者向けの教育をテーマにしました。当たり前と捉えられがちな「安全」という概念を改めて知り、「自分の身は自分で守る」という予防の考え方を学ぶことを目的とします。危険感受性向上に繋がる体験をするとともに、企業の安全担当者の話を聞き、就職後に体験する研修内容を先取りし、働く現場のイメージづくりに役立てるとともに、安全の基礎力向上を目指します。また、研究者にとっても、実例を中心とした講義や安全教育の体験を自身の安全の知識や研究に活かすとともに、実務者との交流を通じて、安全教育の在り方を考える機会としたいと考えます。

*労働科学研究所エキスパートネットワーク (<http://www.isl.or.jp/service/expert.html>) : 労働科学研究所が2005年から約10年に渡り、産業安全保健分野のエキスパートを養成。約220名の修了生が産業安全保健エキスパートとして登録され、エキスパートネットワークを形成。業界や企業や世代、年代の壁を越え活動中。

今回の実施をきっかけに、年度内にブラッシュアップ講座（都内で開催）を計画しています。今回の研修会に出席し、ブラッシュアップ講座を受講した方には、安全の基礎を学び深めたことを証明する研修修了証（労働科学研究所発行）を授与します。本研修は、作業管理士の取得を目指す方にも役立ちます。また、認定人間工学専門家、認定準人間工学専門家、認定人間工学アシスタントの取得を目指す方にとっては、人間工学専門教育受講歴1単位分に相当します。

■日時

2017年8月21日（月）～8月23日（水） 2泊3日

■研修先

新日鐵住金鹿島人材育成センター（〒314-0014 茨城県鹿嶋市光 953-16）

※集合場所は、人材育成センター玄関を予定（詳細は、参加者にお知らせします）

■交通の一例

東京駅八重洲南口「東京～水郷潮来・鹿島神宮」行き高速バス（所要時間約1時間45分、1,830円）
「鹿島製鉄所前」下車 すぐ

（参考：6月1日現在の時刻表）東京駅 9:20 発（11:05 着） 9:40 発（11:25 着） 10:00 発→11:45 着
最新は、web で確認ください。 <http://www.keiseibus.co.jp/kousoku/timetable.php?id=33>
自家用車での参加も可能です。※学生は自動車の使用に関して必ず教員の許可を得てください。

■宿泊先

ホテルルートイン鹿嶋（〒314-0022 茨城県鹿嶋市大字長栖字蒲地 2156-22）

http://www.route-inn.co.jp/search/hotel/index_hotel_id_649

原則的に、学生はツイン、一般はシングルを予定 一括予約

■研修内容

「安全体感教育」プログラム 体験（新日鐵住金鹿島人材育成センター）

産業界において、大変人気の研修プログラムで、多くの企業に採用されているものです。回転体に挟まれたり、感電したり、高所から落下したりと、普段では体験できないことを体験できます（研修ですので、当然のことながら安全は確保された状態で実施されます）。今回は、学生向けの講習会ということで、いわば、企業研修の先取りとなります。このような体験をして、安全に対する意識を高めることは、就職活動だけでなく、今後の人生において必ずプラスに働くと考えています。

「安全実務者による安全・危険感受性関連講演、ディスカッション」

労働科学研究所産業安全保健エキスパートの協力のもと、普段、聞くことができない、産業事故の実態など、実践的な話を伺い、グループディスカッションで理解を深めます。業界の第一線で安全対策に取り組んでいる方々と学生とが交流できる機会です。

講演者：川野政彦氏（JP ハイテック安全品質環境管理部長，労働安全コンサルタント） 他
川野氏は、電源開発株式会社において、専任安全管理担当などを歴任され、現在、電源開発株式会社のグループ企業の1つである JP ハイテックにて、安全品質環境管理部長として、安全教育に取り組んでいらっしゃいます。日本の安全分野における実務者として、トップクラスの人材です。

「グループワーク、グループ発表」

安全に関するテーマについて、グループ討議を行い、最終日に、討議内容のプレゼンテーションを行います。

「講評・ミニ講演」

講評の一環として、企業の安全担当者によるミニ講演と安全分野の研究者（大学教員等）による学生へのメッセージを予定しています。

■スケジュール（予定） ※変更する場合があります。

		1日目（8月21日）	2日目（8月22日）	3日目（8月23日）
午前	7:00		朝食	朝食
	8:00		移動	移動
	9:00		安全実務者による安全・危険感受性関連講演、ディスカッション	グループ発表
	10:00			
	11:00			
	12:00	集合（11:50 予定） 昼食（弁当・班毎）	（川野政彦氏） 昼食	ミニ講演・講評・表彰式、写真撮影、解散
午後	13:00	「安全体感教育」	グループワーク	
	14:00	半日コース 体験		
	15:00			
	16:00			
	17:00	ミニグループワーク	移動	
	18:00	宿泊施設へ移動	懇親会	
	19:00	夕食		
	20:00	課題実施		
21:00				

■募集人員

最大 80 名（学生枠：50～60 名、一般枠：20～30 名 予定）

■募集方法

2017年6月19日より募集開始

学生および教員：大学単位で、以下を取りまとめて、末尾の実行委員会連絡先へ

6/30まで 担当教員名、所属、連絡先（メールアドレス）、学生参加人数（男女別）

7/25まで 参加者氏名、参加者連絡先（メールアドレス）、学年、性別（部屋割り用）

一般：氏名、所属、連絡先（メールアドレス）を末尾の実行委員会連絡先へ

■募集スケジュール

2017年6月17日 - 6月30日 人類働態学会会員、学生 優先申込期間

2017年6月30日 - 7月10日 人類働態学会非会員等、申込期間

2017年7月25日 学生参加者名簿、研究室紹介提出

2017年7月30日頃 第2報発行 参加者へ集合場所、集合時間、交通案内等を送付

■参加費

人類働態学会会員 学生（院生、社会人学生を含む） 18,000円

人類働態学会非会員 学生（院生、社会人学生を含む） 20,000円

人類働態学会会員 一般 30,000円

人類働態学会非会員 一般 35,000円

※応募多数の場合、学生、会員を優先します。

※人類働態学会の年会費は、学生 3,000円、一般 7,000円、です。是非、この機会に入会をご検討ください。入会手続きを済まされた方は、会員価格で参加いただけます。

<費用に含まれるもの>

2017年8月21日（月）昼食・安全体感実習費・夕食・宿泊

2017年8月22日（火）朝食・昼食・懇親会・宿泊

2017年8月23日（水）朝食・昼食

その他、集合時刻から解散時刻までの保険料、研修中の移動（研修場所・宿泊場所の間、研修場所の中）にかかわる費用、資料一式。集合場所・解散場所から自宅等までの費用は含まれません。

<一部日程の参加>

※初日（8月21日（月））のみ日帰り参加の方

参加費：一般・学生とも 8,000円

含まれる費用は昼食・安全体感実習費・保険料・資料・研修中の移動にかかわる費用
夕食・懇親会を希望される方は実費（3,000円程度）をいただきます。

※2日目（8月22日（火））・3日目（8月23日（火））のうち1日のみ日帰り参加の方

参加費：一般・学生とも 5,000円

含まれる費用は昼食・資料・保険料・研修中の移動にかかわる費用

※その他の一部日程参加の方

個別にご相談ください。上記ケースに準じた費用および宿泊費等をいただきます。

<キャンセルポリシー>

2017年8月10日（木）24:00まで → 無料

2017年8月11日（金）0:00から17日（木）24:00まで

→安全体感実習費・懇親会・保険料の全額とキャンセルした食事と宿泊代の実費

2017年8月18日（金）0:00から当日 → 全額

■企画者からのメッセージ

唐突ですが質問です、あなたが最近、転んだことがあるのはいつですか？

夜道の暗がりや歩道の縁石につまずいたり、深夜、寝ぼけていたり、深酒をした酩酊状態で足許が滑って転ぶ等々、視覚情報の欠如や周辺環境の情報認知の不足、急激な動作変化や不自然な姿勢からの身体バランスの崩れなどにより、身体制御ができなくなった結果、「転ぶ」という不良動作が発生します。人類が直立歩行を始めて以来、今日に至るまで、身体移動の重心制御というものは、常に不安定な状態にあります。

ヒトはこの世に生れ出でて以降、赤ちゃんの頃は寝返りすら満足にできませんが、数年のうちには、よちよちと歩くようになります。その間、誰しもが何回も転んでは立ち上がり、を繰り返して今日、日常的に歩くことができる重心移動の仕方を体得してきたはずで

大きな傷害を負う事故に遭う前に、数多くの軽微な失敗の経験をもつことで、安全で効率的な行動の仕方を体得する、そしてそれと同時に失敗時の状況をデータベース化することで類似の状況下で失敗を繰り返すことを避ける、危険を予知する判断力も培われていきます。

また、交通安全の分野では、「スケアード・ストレイト (scared straight)」と呼ばれる「恐怖を直視させる」教育手法を利用して、プロのスタントマンによる事故再現を交通安全教室として疑似体験（見せる）工夫などもなされていますが、これも類似の発想によるものです。

今回の人類働態学会・夏季研究会では、はたらく現場での危険を回避するための学びの手法として、日鉄住金ビジネスサービス鹿島（株）さんが技能教育の一環として展開されている「安全体感教育」のプログラムを通じて、日常生活での安全を確保するための危険予知の考え方を知っていただく、身につけていただくことを目的として企画いたしました。

併せて、長年、企業において安全に取り組んできた実務家の方をお招きし、実際の企業で行っている安全への取り組みを、事例をもとにお話しいただきます。いわば、企業での研修の先取りです。企業での「生」の活動を知る、貴重な機会です。

今後、皆さんの将来に向けて、こうした危険体感、安全への理解、安全管理の発想が多少でもお役に立てるものと考えます。ぜひ、ご参加ください。

■実行委員会

実行委員長：酒井一博（人類働態学会理事、大原記念労働科学研究所所長）

事務局長：松田文子（人類働態学会理事、大原記念労働科学研究所事業部・研究部）

財務担当：竹内由利子（人類働態学会理事、大原記念労働科学研究所研究部・労研エキスパートネットワーク事務局）

庶務担当：水野有希（人類働態学会理事、東洋学園大学、大原記念労働科学研究所研究部）

企画担当：池上 徹（人類働態学会理事、大原記念労働科学研究所研究部）

川野政彦（労研エキスパートネットワーク副会長、JP ハイテック）

江口剛史（労研エキスパートネットワーク事務局、日本電子）

他、労研エキスパートネットワーク有志 数名

労研連携：稲垣智子（大原記念労働科学研究所事業部）

■申込・問合せ先

2017年度 人類働態学会 夏季研究会実行委員会事務局

メールアドレス HES-SSM2017@isl.or.jp

TEL：03-6447-1435（直通）、Fax：03-6447-1436 大原記念労働科学研究所事業部（松田文子）